

# SEEDs支援事例：堺エコライフポイントアプリを用いたナッジメッセージ 配信実験（2022年度）



## 【趣旨】

堺市環境政策課が、堺エコライフポイントアプリユーザの「行動①服のリユースショップ持ち込み」「行動②フードドライブへの寄附」を促すお知らせ配信にナッジを活用した実験を行うにあたり、実験の設計や効果検証を行った。

## 【課題（ボトルネック）】

- ・処分に手間がかかると考え、服をリユースショップに持ち込まない
- ・手つかず食品品の存在に気付かず、フードドライブに寄附しない

## 【概要】

- 対象 堺エコライフポイントアプリユーザ1,424名（属性や活動実績等が偏らないように4つのグループに分類）
- 期間 2023年2月3日～3月12日
- 内容 グループごとに行動①もしくは②を促す以下のお知らせ配信を行い、配信前後及びグループ間の行動実践率を比較

グループA: 行動①を促す  
ナッジを使ったお知らせ



服を捨てると、〇万円の損！？  
みなさん、服の購入にどのくらいのお金を使っていますか？  
総務省の家計調査によると、1世帯で年間約5万円を服に使っているそうです。  
せっかく購入した服を捨てることは、その5万円を捨てるも同然！  
（リユースショップに持ち込めば、お小遣い変わるかも知れないの。。。）  
「着ないけどクローゼットにあっても邪魔にならんし。。。」ってなりがちですが、まずはとりあえず、着なくなった服を集めて、袋にまとめて入れてみましょう！  
びびるを手に、リユースショップにサッと持っていきちゃいませう☆

グループB: 行動②を促す  
ナッジを使ったお知らせ



今日は食品ストッカーのチェック日です！？  
いつもの朝に家に戻っていきお昼やレトルト食品・・・  
今、家になんか食品がどれくらいあるか、把握していますか？  
「食品ストッカーって、あんまり聞かないよね。」そんなあなたは、食品ストッカーの巾着をチェックする日を事前に決めて、服など見える場所に貼っておきましょう！  
定期的にチェックして、「大皿に供てるなあ」「もらったけど半分食べないなあ」という食品があったら、ぜひ、フードドライブへの寄付を依頼ください。  
「寄付したら賞味期限がきれちゃった。。。」そんな日々からは、もうサラッです☆  
【ポイントがもらえるフードドライブの持ち込み先などはこちら  
<https://point.city.sakai.jp/foodshare/sumi/forhome/>】

グループC: 行動①を促す  
ナッジを使わないお知らせ



着なくなった服はリユースしよう！  
流行の移り変わりが早い「服」。  
期間経ると、約7割の人が着なくなった服をゴミとして捨てており、その量は、なんと年間約48万トン！1日あたり大塚トラック約130台分の服が、焼却などで処分されています。  
ごみを減量するため、着なくなった服はリユースショップに持ち込みましょう！  
あなたのお気に入りには、きっと次の誰かのお気に入りになります☆  
【ポイントがもらえる服の持ち込み先などはこちら  
<https://point.city.sakai.jp/foodshare/sumi/forhome/>】

グループD: 行動②を促す  
ナッジを使わないお知らせ



フードドライブを実施しよう！  
未開封で捨てられた食品や、作りすぎて捨てしまった「食品ロス」。  
日本全体で、年間522万トンも発生しています。  
これを国民1人あたりに換算すると、「お茶碗1杯分の食べ物」を毎日捨てていることになります。  
堺市の家庭からも、毎年約2万トンの食品ロスが発生しており、そのうち半つかずの食品は約9千トン。ごみとして処理されることで、環境に負荷を与えています。  
ごみを減量するため、食べられない食品などがあれば、フードドライブしましょう！  
フードドライブされた食品は、必要とする方や団体に届けられ、活用されます☆  
【ポイントがもらえるフードドライブの持ち込み先などはこちら  
<https://point.city.sakai.jp/foodshare/sumi/forhome/>】

## 【活用したナッジ】

- ・損失の強調（Attractive）
- ・具体的動作の指示（Easy）
- ・対処方針の事前計画（Timely）

## 【結果】

・フードドライブへの寄附を促すナッジを使ったお知らせについて、ナッジを使わないものと比較して約3%ptの行動実践率向上を確認できた。  
・服のリユースショップ持ち込みについても、2種のお知らせを比較してナッジを使ったもののほうが行動実践率の向上が見られた。

## 【行動①服のリユースショップ持ち込み】 【行動②フードドライブへの寄附】

	実験前の実践率	実験後の実践率	差		実験前の実践率	実験後の実践率	差
グループC	1.12%	1.40%	+0.28%	グループD	0.28%	0%	-0.28%
グループA	0.56%	2.25%	+1.69%	グループB	0.84%	3.65%	+2.81%
差	-0.56%	+0.85%	+1.41%	差	+0.56%	+3.65%	+3.09%*

※χ<sup>2</sup>検定により統計的有意性を検証

\*：5%有意